

「連合山形第26回定期大会」を開催

——「ストップ・ザ・格差社会！すべての働く者の
連帯で「安心社会」を切り拓こう！」——

連合山形は、11月7日、大手門パルズにおいて第26回定期大会を開催し、向こう2年間の活動方針について決定しました。

大会には、200名の代議員・特別代議員が出席し、大会議長団に情報労連・菊地千鶴代議員とJAM・影山智章代議員を選出し議事に入りました。

大会に先立ち、大泉連合山形会長は、「連合山形は、東日本大震災からの復興再生、デフレ経済からの脱却、格差社会の是正、非正規労働者を含めたすべての働く者の幸せを実現するために、全力で取り組んできた。一つは組織拡大運動、連帯活動の推進による社会的影響力ある連合運動の展開、二つ目に賃金労働条件の底上げ、改善の取組み、三つ目は政策実現活動、政治活動の強化についてである」と大きく三つの課題に触れながら挨拶、さらには「希望と安心の社会」を創るために、活発な意見で方針を補強していただくようお願いしました。

また来賓として、連合本部・木村副事務局長、吉村県知事、市川山形市長、民主党県連・加藤常任幹事、社民党県連・吉泉代表、労福事業団体を代表して全労済山形県本部三澤本部長、それぞれからご挨拶をいただきました。

経過報告、財政報告に続き、今年度新規加盟した「れんごう山形ユニオン・太田産商労働組合」を紹介し、阿部勇記委員長に組合旗の助成金が贈呈されました。

議事に入り、「2014-2015年度活動方針」「2014年度予算」「役員選出」「表彰」の提案が満場一致で承認されました。また、「労働分野の規制緩和に反対し、社会的セーフティネットの強化を求める特別決議」と「大会宣言」が採択され、最後に大泉会長によるガンパロー三唱で大会を締めくくりました。



2014連合山形 新春旗開き

主催：連合山形
連合山形地域協議会

とき：2014年1月7日(火)
15時30分開会

ところ：大手門パルズ3F「霞城」

会場からの発言要旨



庄司代議員（県教組）

- ◆連合山形被災者支援カンパ金について、山形県の避難者が入園している「認可外保育施設」に対し贈呈していただいたことに感謝する。
- ◆なんでも労働相談ダイヤルは、労働に関するさまざまな問題を抱え働く仲間がすがる思いで相談されている。引き続き重要な地域ユニオン活動としての取り組みをお願いしたい。
- ◆大学生に対し、働くことや労働組合に対する理解をはかるため、寄付講座を開設していただいていることへ感謝し、引き続きの取り組みをお願いしたい。
- ◆民主党政権から自民政権に変わり、少人数学級編成教育拡充の凍結、学校統廃合、全国学力学習状況調査データの公開など、国の教育方針が私たちの考えとまったく違う方向へ変わろうとしている。引き続き政策として訴えていく取り組みをお願いしたい。
- ◆11月23日に「教育を考えるフォーラム」が大手門パルズにおいて開催されることから、構成組織のみなさまから多くの参加をお願いしたい。

連合山形13期(2014~2015)年度新役員の皆さん

役職名	氏名	構成組織名	区分	区分
会長	大泉 敏 男	自治 労	再任	専 従
副会長	細谷 眞	J A	再任	非専従
副会長	熊澤 年 啓	電 機 連 合	再任	非専従
副会長	小口 裕 之	県 教 組	再任	非専従
副会長	齋藤 健	電 力 総 連	再任	非専従
副会長	岡田 新 一	自 治 労 組	再任	非専従
副会長	千場 一 弘	J P 労 組	再任	非専従
副会長	設楽 正	情 報 労 連	再任	非専従
副会長	角谷 俊 一	U A ゼ ン セ ン	新任	非専従
副会長	水戸 吉 一	交 通 労 連	新任	非専従
事務局長	森 俊 幸	電 機 連 合	再任	専 従
副事務局長	舘 内 悟	電 力 総 連	再任	専 従
副事務局長	(欠 員)			
執行委員	浦 瀧 靖 裕	自 動 車 総 連	再任	非専従
執行委員	井上 雄 吾	電 機 連 合	再任	非専従
執行委員	長岡 敦 夫	U A ゼ ン セ ン	再任	非専従
執行委員	丹野 忍	情 報 労 連	新任	非専従
執行委員	佐藤 修 一	J A	再任	非専従
執行委員	近藤 雅 彦	電 力 総 連	新任	非専従
執行委員	大沼 信 之	基 幹 労 連	再任	非専従
執行委員	皆本 起 良	J R 総 連	再任	非専従
執行委員	高橋 末 雄	交 通 労 連	再任	非専従
執行委員	大伊 藤 暁 功	運 輸 労 連	再任	非専従
執行委員	大伊 藤 功 克	自 治 教 組	再任	非専従
執行委員	佐藤 芳 一	J P 労 組	再任	非専従
執行委員	石沢 剛	森 林 労 連	再任	非専従
執行委員	管 洋	国 公 総 連	再任	非専従
執行委員	今野 明 全	水 道 組	再任	非専従
執行委員	高橋 昭 弘	県 教 組	再任	非専従
執行委員	渡部 勢 津 子	女性委員会(自治労)	再任	非専従
執行委員	阿部 香 代 子	女性委員会(電機連合)	再任	非専従
執行委員	三 藤 知 一	青年委員会(自治労)	再任	非専従
執行委員	加藤 理 一	青年委員会(UAゼンセン)	再任	非専従
会計監査	八木 忍	J A	再任	非専従
会計監査	草 薨 智 彦	J R 連 合	再任	非専従
会計監査	須田 純 一	労 金 労 組	再任	非専従



鈴木代議員（自治労）

- ◆地方交付税削減により、公務員給与を削減することに対し、4月から行政や関係団体に対する要請やキャラバン行動、集会を行ってきた結果、7つの自治体が給与削減とならなかった。これまでの取り組みへの協力に対し連合山形構成組織および各地域協議会の皆様に感謝する。
- ◆山形市の公契約条例制定への取り組みについて、9月議会で継続審議となっていることから、連合山形が求める内容での早期制定に向け、引き続きの取り組みをお願いしたい。



加藤代議員（高教組）

- ◆県労福協と連携した「労働教育支援事業」について、非正規雇用やワーキングプアの増加など雇用労働への課題がある中、将来を支える高校生への啓発活動は重要であることから、引き続き取り組みをお願いしたい。
- 併せて、障がいのある高校生の就職支援への取り組みについてもお願いしたい。



大山代議員（JR総連）

- ◆JR北海道で起きた列車事故に対し、連合構成組織のみなさまに心配と迷惑をおかけしたことへお詫びする。今後、安全と信頼回復に向けて、職場から声を上げて運動をつくり再発防止に取り組んでいく。
- ◆参議院選挙において、県選挙区は舟山やすえ氏を支持し、残念ながら惜敗したが、安倍政権の暴走を許さず、国民生活の底上げに向けて運動をお願いしたい。
- ◆2014春季生活闘争について、消費税増税や社会保障費の負担が増える中、一時金だけでなく、職場は本気でベアを望んでいることから、連合山形構成組織と力をあわせ、春闘勝利に向けて取り組んでいく。

退任された役員

本大会で5名が退任することとなりました。大変お疲れ様でした。

- 副会長 鈴木 純 一（交通労連）
- 副会長 酒井 芳 明（UAゼンセン）
- 副事務局長 高橋 朗（連合山形）
- 執行委員 古川 和 彦（情報労連）
- 執行委員 我妻 真知子（UAゼンセン）

山形県の最低賃金が11円アップ!

665円に!

山形県の最低賃金を決める山形地方最低賃金審議会は、8月26日に開催された第4回審議会において、公益委員・労働者委員賛成、使用者委員一部反対で、11円引上げ665円にすることを決定し、山形労働局長に答申しました。

最終の専門部会では、労働者側は12円までであれば全会一致で決定したいと主張しましたが、使用者側は10円が最終提示としました。最後まで両者の溝が埋まらなかったため、公益見解11円と提示されたのを受け、労働者側は賛成、使用者側は一部反対で決定しました。発効日は2013年10月24日です。

【労働者代表委員】

◎井上正則（電機連合）、◎佐藤修一（JAM）、酒井芳明（U Aゼンセン）
高橋成子（高教組）、◎舘内悟（連合山形）（◎は専門部会労働者代表委員）

専門部会における主な主張については、以下のとおりでした。

【労働者側意見】

- ・現在の時給654円では、年間2000時間働いても130万円程度であり、これで「健康で文化的な生活が出来ず、働くモチベーションも上がる訳がない。中賃目安額を尊重しつつ、これに拘束されず、高卒初任給や連合リビングウエイジ（山形県の最低生計費）に早期に到達するため、地域として主体性をもった金額審議をしていく。

最低賃金制度は賃金の最低限を保障するセーフティネットであり、非正規労働者が全国2000万人を超え増大している現状を踏まえ、連合リビングウエイジ（山形県の最低生計費）890円に2020年まで到達（7年間）することで算出し、引上げ額34円の688円を主張する。

【使用者側意見】

- ・アベノミクスは地方への波及がなく県内の経済情勢は厳しい状況であり、GDPなど経済の実績を見た審議が必要である。
- ・地域の発展や労使の信頼関係を考慮し、中賃目安は尊重するが、昨年の1回目提示額1円の倍の2円の656円を主張する。

特定最低賃金も改正されました!

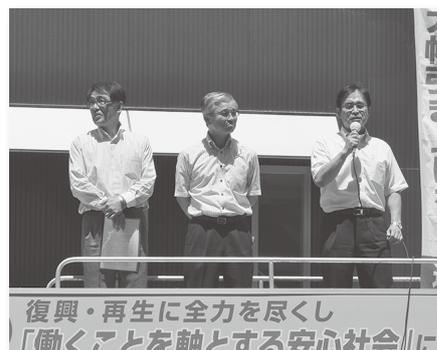
山形県の特定最低賃金も改正され、4業種について9円引き上げられました。発効日は2013年12月25日です。

改正金額

申出産業・業種	改定前	改定後	引上げ額
一般産業用機械機器製造業	745円	754円	9円
自動車部品製造業	747円	756円	9円
電気機械器具製造業	731円	740円	9円
自動車整備業	749円	758円	9円

【労働者側特定最低賃金専門委員】

- ①一般産業用機械製造業
佐藤修一（JAM）、長瀬義明（JAM）、佐藤宏一（JAM）
- ②電気機械器具製造業
井上正則（電機連合）、熊澤年啓（電機連合）、金子 浩（JAM）
- ③自動車・同附属品製造業
八木 忍（JAM）、佐藤修一（JAM）、中島佳津洋（JAM）
- ④自動車整備業
浦瀧靖裕（自動車総連）、吉田太一（自動車総連）、舘内 悟（連合山形）



2年目の山形大学「連合山形寄付講座」スタート!

昨年からスタートした山形大学人文学部での「連合山形寄付講座」の講義が10月10日スタートし、83名の学生が受講登録しました。学生たちは、「働く」ということを考えながら、実社会における現状や解決方法などについて真剣に聞き入りっていました。

この山形大学「連合山形寄付講座」は、2011年12月8日、連合山形と山形大学が相互に協力して、学生が労働現場の現状と働くうえでの課題を具体的に理解し、その課題解決に向けて考える姿勢を培うため、山形大学に講座「労働と生活」を開設することで合意しました。連合山形、労福事業団体役員が講師となり、後期授業として開講されています。



ゲストスピーカーの大泉連合山形会長

山形大学 連合山形寄付講座・講義のプログラム 「労働と生活」

2013年度後期

回数	月日	テーマ	要点	講義の概要	担当	所属・役職
第1回	10月3日 (木)		オリエンテーション	本講義を受講するにあたり、必要と思われる労働組合や労働者福祉運動に関する基礎的な知識を解説する(ナショナルセンター、産別、単組、春闘、ストライキ、全労済、協同組合など)。	戸室 健作	
第2回	10月10日 (木)	労働組合とは何か	働く現場で何が起きているのか	連合山形に寄せられる労働相談から見えてくるもの、職場の現状や労働相談に対する具体的対処・対応策などについて、具体例をあげながら労働組合の意義や役割について話していただく。	柏木 実	連合山形 組織広報部長
第3回	10月17日 (木)		労働組合の今日的役割	連合山形が何故「寄付授業」開設することになったのか、その趣旨について話をしながら、山大生に、労働組合の今日的な役割について、総括的に学んで欲しいことを話していただく。	大泉 敏男	連合山形 会長
第4回	10月24日 (木)		賃金と処遇の改善	労働生活にとって賃金制度や賃金水準は重要な問題である。労働組合は、これらについてどのように考えており、賃金の維持・向上にどのように取り組んでいるのかを、春闘、最低賃金制度に対する取り組みも合わせて説明していただく。	館内 悟	連合山形 副事務局長
第5回	10月31日 (木)		労働時間、ワークライフバランスの確保	無用な長時間労働の撲滅、労働時間の二極化への対応、雇用と生活を守るための適正な労働時間の執行を目指し、特徴的な取り組みをしている職場の事例、労働組合の考え方を伝えていただく。	熊澤 年啓	連合山形 副会長 電機連合山形地方協議会 議長
第6回	11月7日 (木)	職場の課題とその取り組み	ワークライフバランスの実現	募集・採用から昇進・昇格、転任、退職等の場面ごとに労働組合は経営側とどのような交渉を行い、何を求めているのか。特に、男女とも仕事と生活の調和の実現をめざす取り組み(仕事と育児・介護の両立支援、均等待遇)に重点をおいて説明していただく。	高橋 成子	山形県高等学校障がい児学校 教職員組合(山形県高教組) 書記長
第7回	11月14日 (木)		1/23に延期			
第8回	11月28日 (木)		雇用・政策実現の取り組み	山形県における主要政策課題と、行政に対する政策実現活動が具体的にどのように行われているのかを説明していただく。とくに、雇用・労働政策、若年者雇用の課題、地域政策などについて話していただく。	森 俊幸	連合山形 事務局長
第9回	12月5日 (木)		公務労働者の現状	労働基本権が制約されている中で公務労働者の組合活動はどのように行われているのか、特に「市場化」「独立行政法人」「指定管理者制度」等の動きが活発化している状況下での組合活動の役割と課題について解説していただく。	小口 裕之	連合山形 副会長 日本教職員組合山形東教職員組合 執行委員長
第10回	12月12日 (木)	協同組合の意義、現状と課題	協同組合の意義、現状と課題	地域における労働者自主福祉運動として、誰が行っているのか、とくに、協同組合の歴史と考え方、その意義と役割など紹介していただく。福祉事業団体の事業・活動についても触れる。	門脇 玄	(一社)山形県労協 副理事長 東北労働金庫山形県本部 本部長
第11回	12月19日 (木)	協同組合とは何か	共済活動、たすけあいの現状と課題	全労済の運動の基本方向と課題を中心に説明し、それぞれの誕生の歴史や理念とするもの、地域との関わりや共生の社会づくりの提起	三澤 裕	(一社)山形県労協 副理事長 全労済山形県本部 本部長
第12回	12月16日 (木)	協同組合の取り組み	生協活動、協同組合の現状と課題	協同組合の運動の基本方向と課題を中心に説明し、それぞれの誕生の歴史や理念とするもの、地域との関わりや共生の社会づくりの提起	高橋 朗 大友廣和	(一社)山形県労協 専務理事 (一社)山形県労協 副理事長 山形県生活協同組合連合会 専務理事 山形県農業協同組合中央会 (JA山形中央会) 教育部長
第13回	1月23日 (木)		雇用・非正規労働者の処遇改善	組織率低減の要因をどのように捉えているのか、また、その克服のため具体的に何をめざしているのか、実践的な事例に基づいて紹介していただく(非正規労働者の拡大と、組織化の課題を含む)。	柏木 実	連合山形 組織広報部長
第14回	1月30日 (木)	連合のめざす社会		ゲストスピーカーから、連合が目指す社会「働くことを軸とする安心社会」の実現の取り組みについて提起していただく。ナショナルセンターがめざす社会像とその実現に向けた労働組合の役割と課題について話していただく。	連合本部高橋睦子	
第15回	2月6日 (木)		まとめ		戸室 健作	
補講日	2月18日 (火)		テスト		戸室 健作	

東日本大震災被災者支援金を贈呈

連合山形は東日本大震災後、被災地へのボランティア派遣をはじめ支援カンパなどによる支援を行ってききましたが、このたび支援カンパの一部を避難者(子ども)を受け入れている「認可外保育施設」14施設に贈呈しました。9月13日には、大手門パルズで贈呈式を行い、連合山形大泉会長より山形地区5施設に支援金が贈呈されました。



吉村知事に連合山形の政策要請書を提出

9月26日、連合山形は、2014年度山形県予算編成に向けた要請書を吉村知事に提出しました。

連合山形の大泉会長から、雇用・労働、行政政策、産業政策、福祉社会保障、教育政策の5つの部会から54項目にわたる要請書が吉村知事に渡され、その後、連合山形三役らと意見交換を行いました。組織内での県政に関わるいくつかの課題を討議し、連合山形として「働くことを軸とする安心社会」の実現を目的に、要請を取りまとめました。

10月15日には、この要請書に関する県の所管担当者との意見交換会を開催し、県の予算編成において連合山形の要請が反映されるように訴えました。



男女共生集会

連合山形は、10月21日、「2013男女共生集会」を開催し、「ジェンダーを考える」というテーマで、東北公益文科大学の伊藤真知子教授より講演をいただきました。伊藤教授は、国立女性教育会館事業課研究員、東北公益文科大学副学長を歴任し、山形県の男女共同参画や子育て支援などをテーマとして研究活動をされています。講演には約100人の組合員が参加し、男女がお互い尊重し生きていくことについて考え、伊藤教授は、「男、女にこだわり過ぎずに、働く者として同じように接して行くことが大切だ」など話されました。

参加者からは、「男女平等という言葉だけが職場に浸透してしまい、男性と同じだけ働かなければいけないという、男性から見て都合の良い解釈をされている。もっと男性の認識が必要。」「男女格差をなくし平等を進めていくためには、社会そのものの仕組みを変える、法整備をしなければならぬと感じる。」「組合役員をされていて思うが、女性は表舞台に出てきたがらない。格差を深めたいとは思わないが、女性全体の考え方を変えなければいけないと思う。」などといった感想が寄せられました。



「山形県労使セミナー」を開催しました

2013年11月26日（火）、山形市大手門パルズにおいて、社団法人山形県経営者協会と連合山形共催による「山形県労使セミナー」が開催され、200名の方が参加されました。「企業における社員のメンタルヘルス」と題して、福島学院大学メンタルヘルスセンター長の末廣晃二氏が講演し、最近増えている社員のうつ病などのメンタルヘルス対策について話されました。



「労働者保護ルール —— 改悪を許さないぞ！」 怒りの県都集会

連合山形は、11月20日（水）、山形市第二公園で「労働者保護ルール改悪阻止！ 11.20緊急集会」を開催し、集会後山形市内をデモ行進しました。

安倍政権は、クビにされやすい制度の導入や残業代を払わずに働かす制度の導入など、これまでの労働者保護ルールを改悪しようとしています。解雇の金銭解決制度の導入は、クビ切り自由化とも言え、お金さえ支払えばクビにできる制度です。また、派遣労働に関するルールの見直しは、派遣労働者は派遣でずっと働き続けられる制度にすることで、派遣労働者をどんどん増やし、正社員を減らそう、というもののなのです。「生涯ハケンで生涯低賃金」です。その他にも、会社が何時間残業させても残業代を全く払わなくてよいとする「ホワイトカラーイグゼンプション」という制度の導入や、勤務地や仕事内容が限定された「限定正社員」という制度をつくり、解雇ルールを同時に見直して、まさにクビ切りしやすい正社員を作ろうとしています。このような労働者保護ルールの改悪に対して、私たち働く者が声を上げて阻止しなければなりません。

小雨の降る中、200名の働く仲間が参加し、反対の声を上げました。



「働きがいのある、 人間らしい仕事を！」

—— ディーセントワーク世界行動デー ——

10月7日は、世界156の国と地域の労働者が結集する I T U C（国際労働組合総連合）が呼びかける「ディーセントワーク世界行動デー」。ディーセントワークとは、働きがいのある人間らしい仕事という意味です。国連の専門機関である I L O（国際労働機関）が示した活動目標であり、連合はこのディーセント・ワークを求めています。

連合山形は、この呼びかけにこたえ、10月22日、「世界中の働く仲間とともに、働きがいのある人間らしい仕事となる社会をつくろう」と山形駅前通りにおいて街宣行動を行いました。



会議・宴会には

JR山形駅から徒歩約12分・安い！会議室利用料
新年会ご予約承り中

大手門パルズが便利です

■お申込み・ご相談は
電話023-624-8600/FAX023-631-3143

■ホームページもご覧ください
<http://www.otemon-pals.jp>



パーティー・宴会・集会・レストラン
大手門パルズ
（一社）山形県勤労者福祉センター
〒990-0044 山形市木の実町12番37号

各専門委員会総会

*** 連合山形青年委員会 第23回総会 ***

青年委員会は、10月21日に大手門パルズにおいて第24回総会を開催し、2014年度の活動方針と新年度の役員体制を決定しました。三瀧知一委員長（自治労）が再任され、生活・職場環境改善のために、現場の最前線で働く青年が主体的に運動に取り組み、誰もが安心して働き生活していける社会の実現に向け、青年の力を結集しようと、総会宣言を採択しました。



*** 連合山形女性委員会 第24回総会 ***

女性委員会は、10月21日に大手門パルズにおいて「労働組合・職場・社会における男女平等参画を進めよう！」をメインスローガンに第25回総会を開催し、2014年度の活動方針と新年度の役員体制を決め、渡部勢津子委員長（自治労）が再任されました。労働組合を構成する一員として積極的に議論に参画するとともに、自身の運動であるという認識を持って取り組まなければ、私たちの求める男女平等参画社会を実現できないと決意を新たにしました。



*** 山形県高齢・退職者連合 「第21回定期総会」・「20周年祝賀会」を開催 ***

高退連は、10月29日、大手門パルズにおいて第21回定期総会を開催し、2014年度の活動方針を決め、伊藤寛会長が再任されました。総会終了後、山形県高退連結成20周年記念祝賀会が開催され、昔話に花を咲かせながらも、今後の組織拡大に向けた決意が語られていました。



東北ろうきん創立10周年記念

プレミアムキャンペーン2013

キャンペーン期間 2013年10月1日(火)～2013年12月31日(火)

定期預金(5万円以上の新規お預け入れまたは増額書き換え)またはマイプランおよび各種ローン取引の新規ご契約をいただいた方に「デュアルパワーライト」をもれなくプレゼント!

さらに 下記対象取引をいただいた方の中から
**抽選で2,500名様に
5,000円相当の
カタログギフトをプレゼント!**

(対象取引)

定期預金

キャンペーン期間中の定期預金
残高増加額5万円につき
1口の抽選権(上限20口)

※マイプラン(カードローン)および各種ローン取引は抽選プレゼントの対象ではありませんので、ご了承ください。※抽選権対象取引は、当金庫が自動的に抽出しますので、ご応募の必要はありません。※キャンペーンのプレゼントは、いずれも個人のお客さまが対象となります。※抽選プレゼントはお1人につき1つとし、重複当選はありません。※抽選プレゼントは、総合課税(一時所得)の対象となります。※2014年2月上旬に抽選を行い、当選されたお客さまにご連絡をいたします。※詳しくはお近くのろうきん窓口にお問合せください。

2013年12月1日現在



詳しくはお近くのろうきん窓口、またはフリーダイヤルまでどうぞ。
東北労働金庫山形県本部

0120-1919-62
<http://www.tohoku-rokin.or.jp>

皆さまに支えられ、
発売から30年を迎えました。

- 医療タイプ
- 医療安心タイプ
- 終身医療5000
- 総合タイプ
- 総合2倍タイプ
- 大型タイプ
- がん保障プラス
- 生きる安心タイプ
- 傷害安心タイプ
- シニア総合タイプ
- シニア医療タイプ
- シニア警備安心タイプ
- キッズタイプ
- キッズワイドタイプ
- キッズ満期金付プラン

30th Anniversary
世代を超えて、安心をつなぐ。
こくみん共済

全労済は、営利を目的としない安泰の生命として
共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支えいただいで
組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済



ZENROSAI NEWS

全労済山形県本部 (山形県勤労者共済生活協同組合)

〒990-0827 山形市城南町1-18-22
TEL 023-646-4666

中央支所	〒990-0827 山形市城南町1-18-22 TEL 023-646-4666	酒田支所	〒998-0843 酒田市千石町2-13-16 TEL 0234-23-3160	鶴岡支所	〒997-0033 鶴岡市泉町8-73 TEL 0235-23-6100
新庄支所	〒996-0084 新庄市大手町5-6 TEL 0233-23-5995	米沢支所	〒992-0012 米沢市金池3-2-7 TEL 0238-22-6065	長井支所	〒993-0006 長井市あら町5-36 TEL 0238-83-6035